



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1926号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島  
TEL (055) 984-0120  
会長 野田 和秀 幹事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

## 第1989回例会

2013.8.1曇

### 司 会

栗原達治君

### 国歌斉唱

四つのテスト

### ロータリーソング

「奉仕の理想」  
指揮 三田明宏君

### 会長挨拶

会長 野田和秀君

8月に入りました。今月は会員増強月間です。後ほど石井増強委員長より卓話がありますので、私からはこの前、地区会員増強・維持研修セミナーでの多田宏氏の講演について報告をさせていただきましたが、肝腎なことが漏れていました。それは、氏が講演の結びとして「当地区の大先輩安部パストガバナー(1985~86)のご意見(友4月号掲載)は実在的を得たご意見である」と言い残されたことです。まだ読まれていない方は是非お読みになることをお勧めします。氏をして大先輩と言わしめるだけの内容かと思えます。一部引用しますと、「本業とロータリーは車の両輪」「ロータリーが景気停滞、不況の時にこそ真価を発揮する」「私の人生は、家庭と職場とロータリー」「事業経営の手法をロータリーに、ロータリーの心を職場に」etc、一部耳の痛い部分もありますが、96歳とは思えない入魂の我々会員への遺言的メッセージかと思えます。

会員増強を謳いながら、退会防止に頭を痛めるといったことが現実の状況としてあるなかで、やはり我々一人ひとりが魅力あるクラブづくりのために、議論を重ね、改善の手法であるPDCAを実践するしかないのでしょうか。話がちょっと飛躍しますが東京のサラリーマンはなぜ、スターバックスへ行くの? という質問にたいして、ただコーヒーを飲むだけでなく、「心に潤いや活力が与えられる」という答えが返ってくるとすれば、同じように家庭と職場とは違う第3の場所であるロータリーの例会場に毎週足を運べば、ロータリーの目的に沿った何か

心的利益とか明日への希望や活力みたいなものが同じように我々にも得られるか否か答えられるのかどうか。

因みに、スターバックスのミッションを以下に記載して、続きは後日にとっておいて以上会長挨拶とします。  
[To inspire and nurture the human spirit -  
One person, one cup, and one neighborhood at a time]

(人々の心を豊かで活力あるものにするために一人ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから)

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	45/50	90.00%	46/50	92.00%
今回	43/52	82.69%	会員総数	54名

欠席者 石井(彰)君、宇田川君、遠藤(正)君、大畑君、勝間田君、窪田君、諏訪部(敏)君、登崎君、矢岸君

### 幹事報告

幹事 平出利之君

理事会承認事項

- ①MIRAフェアの昼食は千円の現金支給。駐車場は三島駅横の駐車場にお願いします。
- ②米山記念館より瀬川さんに評議員の指名依頼が有り、承認
- ③8月の例会：1週会員増強委員会・2週MIRAフェア参加・3週特別休会・4週藤江さん卓話・第5週森崎さんの卓話に変更
- ④10月第4週と11月第4週の内容を交換します。

2013~2014年度  
国際ロータリー会長  
ロン D. バートン

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

## おめでとう

会員誕生日	古川君、田熊君
入会記念日	原君、小野君、野田君、 佐々木君、鈴木(正)君
奥様誕生日	森崎君

## スマイルボックス

- ◆藤江君、今年度、福祉教育委員長を拝命いたしました。今日は、平成25年度第一回三島市高齢者福祉、介護運営懇話会が市役所で13:30より行われますので、早退いたします。宜しくお願い致します。
- ◆小野君、私が三島ロータリーに入会して8月7日で50年になります。長い間会員の皆さんにご厄介になりました。
- ◆伊丹君、7月12日～15日まで西RCゴルフ同好会で九州遠征ゴルフに行ってきました。勉強の効果がすぐ表れまして、過日のゴルフは39:36のスコアで仕上がりました。まれな事ですのでスマイルさせていただきます。

## 卓話

### 会員増強月間

会員増強維持委員長 石井良衛君

7月7日に草薙で行われた会員増強セミナーでの講義を参考に話を進めていきたいと思いますが、その前に入会案内のパンフレットに書かれているロータリーの歴史や広がりについてを一読しながら、改めてここにいる会員の皆様とロータリーについて共有できればと思います。

ロータリーは、世界の親善と平和の確立に寄与する国際的なネットワークです。200を超える国や地域に120万人の会員によって構成される3万3千以上のロータリークラブが存在しています。会員は事業と専門職において、その地域社会のリーダーであり、すべての職業における倫理基準を高めるよう努めています。ロータリーとは、「意義ある活動の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」に取り組んでいる人々の集まりだそうです。改めて文章にすると背筋がピンときますが。

1905年、2月23日、アメリカ・シカゴの街でわずか4人の集まりから始まった組織は110年余りたった今日、全世界に120万人もの会員をもつ巨大な組織に成長しました。ロータリーが初めて行った社会奉仕は、シカゴの街に無料の公衆トイレを設置したことだそうです。1907年、シカゴ商工会の会合に出席した創始者ポール・ハリスは、そこでループ地区の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を聞きました。これを社会奉仕活動を開始する絶好の機会だと感じたポールは、早速この事業に取り組むことをクラブに提案しました。突然降ってわいた、これまでとは異質な活動に、クラブ会員はとまどいましたが、最終的には了承したというのがこの真相です。無料の公衆トイレに反対するシカゴにある6千もの酒場や百貨店からの妨害を受けて、提唱から完成まで3年かかったそうです。しかし、こうした社会活動はまたたくまに、広がり、現在のロータリーがあるのです。

地域のために、何ができるか?そのことを考え、真摯に努力するものが、ロータリアンなのではないかと、私は思うのです。私は、この地域のためにという信念を会員増強維持のテーマとして取り組んでいきたいと思います。まず第一に、三島を中心に清水町、函南町など地域の為に、働く人たちに積極的に接触して勧誘していきたくと思っています。しかし、ただ誘うだけでは、皆さん、なかなか振り向いてはくれないと思いますので、この広報を利用していただければと思います。事業には、ギブアンドテイクがつきものです。この広報誌に、時に空く空白の部分にその方々をとりあげさせていただきたいと思っています。この広報誌に載ることで少なくとも、三島西会員の50数名が、その人を認知することになります。ましてや、家族、知人と伝わればその方の良き宣伝活動になります。そうすれば、私も誘いやすいと思います。この前のセミナーで、あるベテランの増強維持の委員長さんが言っていました。勧誘のこつ、最終的には脅迫です。たしかに先輩、後輩のつながりは強固なものがあると思います。でも、それ以上に私は、地域の為に汗を流す人を、この三島西ロータリーに招きたいと考えます。他のクラブとは違う三島西ブランドというものを作る為にもそれは必要だからです。だから、知り合いでなくてもいいのです。会員増強とは、一人ではできないものだとご理解いただければと思います。この前のセミナーは、会長と共に参加させていただきました。帰りは、自分の車で一緒に帰ってきたのですが、その車中での会長の言葉は、熱いものがありました。

私の仕事は、会長の情熱を皆さんに伝播し、一緒にこの三島西ロータリーの繁栄の為に頑張ってもらうことです。数は力なりと、どこかの政治家が言ったと思いますが、内容が伴ってこそ、数は力なりと断言できると思います。三島西だから、できるんだと他のクラブに言われることが私の快感です。

※委員会報告は次号に掲載します。(週報担当:西本和夫)